

平成 28 年 11 月 4 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（11 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、沖津、木村、葉木、森、事務局天寺
澤野委員長、森村会長補佐

1. 濱田代表理事 挨拶

10 月 21 日 22 日、柳島キャンプ場にて神奈川県初の野外合宿訓練が行われました。プログラムは横浜社が主幹となり実施しました。座間のメンバーからは、身体障害があるメンバーによる車いすの使い方などを指導するなど実践的な訓練となりました。参加者も満足したと思います。また、大川小学校の訴訟があり、損害賠償の判決がでましたが、行政が控訴しています。訴えた被災者の想い、他にも地域でたくさんの方が亡くなったこと。いろんな思いが交錯しますが、悲劇があったことは忘れてはいけないと思います。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会議事」のとおり。

- ・ 2017 年（平成 29 年）事業計画案について報告した。専門部会を研究会として発展的に再編することを提案した。11 月 12 月の各部会にて説明を行い、1 月～3 月に準備会を発足。各研究会のリーダーがロードマップを作成する予定。
- ・ 11/1 船橋 SL ネットワークが市政功労表彰を受賞。

4. 各地域の活動報告

<千葉県>

▶ 県ネット（木村）

- ・ 11/3 千葉県 SL ネット秋季防災研修を実施した。「助かってよかったでは終わらない生活再建のお話」天寺常務理事と「指定管理者が避難所運営！？その現実」秦好子氏についての 2 本の講話。り災証明書の裏話や元行政職員からの視点でのお話で、有意義であった。

▶ 流山野田ネット

- ・ 11/6 秋の研修を予定している。12 名参加予定。

<神奈川>

▶ 神奈川県への動向（森）

- ・ 11/20 四季の森・防災フェアを実施。簡易トイレ・ガラス飛散防止・三角テントなど
- ・ 神奈川県立高等学校での DIG 防災事業も残すところ 3～5 校となった。
- ・ 1 月には、教員 5 年研修を受託。4 日間で総勢 800 名程度の教員向け DIG 研修を実施する。
- ・ 来年度も引き続き高等学校での DIG 防災事業を受託予定。

▶ 座間市（濱田）

- ・ 大和市・社協の大和災害 VC スタッフ養成講座事業を受託した。
- ・ 10/8～11 石巻へたい焼き支援。今回で最後の支援活動。終止符を打つことになった。

今後は女川夢ハウス、大熊町への支援を継続する。

- ・ 12/20 清川村社協の防災講座事業を受託。今回で3回目。
 - ・ 10/27 シェイクアウトキックオフ講演会があった。国崎さんが講師。午前中は乳幼児を持つ母親向けの防災講座。午後は「熊本で感じたこと」をテーマに講演会。その後パネルディスカッションを実施。これを受けて、2017年1月23日シェイクアウトに向けてスタートした。
 - ・ 11/9 まちかど防災カフェ・サポートセンター
 - ・ 11/13 マイ発電プロジェクトワークショップ
 - ・ 11/26 体験型市民減災・災害対応訓練を予定。
- ▶ 西湘ネット（石丸）
- ・ 生命の星・地球博物館館長平田市による「西湘地区の自然災害を考える」をテーマに講演会を実施した。次回は、少人数で体験型のイベントを企画したい。
- ▶ 湘南ネット（葉木）
- ・ 11/11 今村先生をお招きして津波公開講演会を実施する。広報は神奈川新聞・タウンニュースなどに依頼済み。当日運営は、湘南ネットで分担して行う。
 - ・ 危機管理産業展で熊本県防災危機管理監有村氏（元自衛隊）の基調講演を聞いてきた。「今回政府はプッシュ型支援を強調し4/14に届けたという話が出ていたが、実際には4/18に物資が届いた。実は佐賀で止まっていた。なぜなら運送業者が内閣府の書類がないと物資が出せないとの姿勢を崩さず、書類が届くまで時間がかかった。実は、事前に物資輸送の協定をしており、訓練では、内閣府が市町村まできちんと届けると豪語していたが、実際にはそうはいかなかった。国は指示を出す、現場確認をしない。そんな現実があった。今回の熊本地震の報告書は年内に出す予定。」
- 「援助物資に関しては（発災直後には）セットパックで支援をしないと、単品では使えない。女性の視点と子供の視点をもって、パックにして送る体制を整えるべき。1週間分の備蓄をセットで用意しておくべき。」
- 「災害対応をしているときは、なかなか記録が取れないが、必ず時系列記録をとることが重要。1行でも良いので、記録をとっておかないと、すぐに忘れてしまう。記録が残らない。」
- 「熊本は市町村によって罹災証明書様式が違うので統一が図れず大変だった。災害発生後の訓練もしておかなければならない。」
- ▶ 横浜市（沖津）
- ・ 10/21～22 柳島キャンプ場にて神奈川県ネット合宿訓練を実施。22名参加。横浜7名。
 - ・ 11/6 東戸塚小防災拠点での炊き出し訓練
 - ・ 11/13 瀬戸ヶ谷小防災拠点で防災訓練
 - ・ 11/25,26 横浜市 SL 養成講座に協力
 - ・ 12/3 定例会と忘年会
- < 埼玉県 >
- ・ 配布資料の通り。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会...11/11 情報交換
- ▶ 情報部会...11/29 温泉地学研究所・見学会
- ▶ 応急部会...11/20 四季の森支援

【次回の開催日】 12月1日(木)13時30分～
12月1日10:00～理事会

2016年10月の事業報告と今後の予定

(11月4日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・10/16 新潟知事選 柏崎再稼働争点、慎重派の米山氏が当選

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上)

- | 日時 | 震央 | M | 深さ | 最大 | 場所 |
|--------------|-------|-----|-------|----|------|
| ・10/21 14:07 | 鳥取県中部 | 6.6 | 10 km | 6弱 | 倉吉市他 |

鳥取県中部の地震が意味するもの

「日本列島の地殻変動期」説を勢いづかせる

鳥取地震(1943) 南海トラフ地震(1944と46)想起。

- ・10/20 11:49 千葉県北東部 5.3 37 km 4 茨城鹿嶋市他

・[火山]

- 10/08 01:46 阿蘇山爆発的噴火 36年ぶり

イ 風水害(内閣府の災害情報掲載を主に対象)

- ・11/3 帯広で44年ぶりの大雪

海外 ア 地震(USGC発表、M7.5以上又は報道等で犠牲者多数)

- ・10/30 06:40 イタリア中部 6.6 10 km 同地域で地震相次ぐ

イ 自然災害

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府]

- ・11月5日 津波防災の日

[気象庁]

- ・11/4 緊急地震速報訓練

イ 自治体

- ・10/23 新潟県中越地震から12年

- ・10/26 大川小津波訴訟、遺族勝訴 10/31 石巻市、宮城県控訴

ウ 被災地状況

(東日本大震災)

- ・避難・転居者数(復興庁発表) 13万7860人 前月比-3,128人 10/13

(熊本地震)

- ・死者140人(検視50人、市町村85人、関連死5人) 11/1 県庁発表

- ・避難所2カ所 4人 11/1 避難所解消へ

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・岩手県 台風10号被災地 久慈、岩泉町

1-5 注目すべきメディアと書籍等

- ・TV [NHK]
- ・書籍 新刊

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

- ・S L 講座 9,391 人 公認講座 2,043 人* 計 11,434 人 10/25 現在

イ 本部主催のS L 養成事業

- ・[募集] 千葉 45 期我孫子 11/5-12-26 市の補助対象
- ・[募集] 上級講座 18 期 10/22-29-30 気象災害を加える
- ・[募集] 神奈川 63 期横浜 11/25-26 初の 2 日間、応急手当別方式
- ・[募集] 首都圏 99 期上智 11/26-27,12/11 来春に 100 回

ウ 大学等受託のS L 養成事業

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

オ 講座改革

B、防災 / 減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

- ・[予定]11/11 津波シンポジウム 今村教授講演 S L 湘南ネット主催

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

- ・[報告]10/27 シェイクアウト防災講演会 座間市 国崎治江

エ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

ア 到達点 2016 年 累計約 514 万人、世界で 5510 万人

- ・[報告] 10/20 米国シェイクアウト 2140 万人

イ 重要 気象庁との連携 11 月 4 日 緊急地震速報シェイクアウト訓練

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

イ 防災教育普及事業

- ・[報告]防災教育実務者研修 10/14-15

The 防災教育 スタンドアード

- ・[報告]防災教育交流フォーラム 10/15-16

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

- ・[予定]被災者生活再建支援セミナー 11/16-17 JST 会議室 (主催は法制学会)

D、防災研究事業

- ・[報告]社会デザイン学会第6回岩手県被災地訪問研修 10/29-30

普代水門、岩泉町高齢者施設、小木津波防災センター(小木駅併設)田老町の高台
移転住宅と防潮堤、

大槌町の一社)おらが大槌夢広場

釜石市鶴住居、根浜海岸と宝来館

3、事務局等

A、広報

- ・ニュースレター100号 記念は新年号にて

B、その他

- ・石原信雄会長、11月24日で90歳、卒寿

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

1 理事会報告事項

1.1 2017年(平成29年)事業計画案について

添付「2017年(平成29年)事業計画案」

1.2 平成28年熊本地震 応援缶バッチの報告

添付「募金活動 口座出入金表 【平成28年(2016)熊本地震】」

第2次熊本義援金送金額：25万7120円(振込済み)

熊本県に送金した金額合計：52万2869円

1.3 非常用炊出袋の在庫と第4次発注納品の件

添付「2016年第3次発注分炊飯袋収支」「2016年炊飯袋在庫管理表」(両面)

・事務局在庫 38パック

第4次発注分の納品：1100パック

2 その他